



自治体史編さんという〈場〉：三木市における地域活動と歴史文化

川内，淳史

(Citation)

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 15:30-31

(Issue Date)

2017-01-29

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81009732>



自治体史編さんという〈場〉—三木市における地域活動と歴史文化—

2017年1月29日

神戸大学大学院人文学研究科特命講師

川内 淳史

1. 新三木市史編さん事業について

①新三木市史編さん事業の経緯

- ・三木市と神戸大学との包括連携協定（2013年6月）
- ・「市制60周年」を機に、新三木市史編さん事業の開始（2014年4月）
 - ←神戸大学大学院人文学研究科と「受託型協力研究」として実施 / 教員1名（特命講師）を派遣
企画管理部総務課に「市史編さん準備室」設置
- ・三木市教育委員会文化スポーツ振興課に「市史編さんグループ」設置（2015年4月）
 - ←「三木市立みき歴史資料館」開館（2015年5月）にともない、同館2階に市史編さん事務室・整理室を設置 / 市史専門員（嘱託）2名、臨時職員（事務）1名設置

【三木市立みき歴史資料館】「三木歴史・文化の杜^{もり}構想」（2012年6月）に基づき「時空^{とき}の拠点」「まちおこしの拠点」「情報発信の拠点」として、旧市立図書館跡を整備・開館

- ・市史編さん委員会・専門委員会（通史編・地域編）の開催（2016年度）

②新三木市史編さん事業の内容

事業期間：2014年度～2029年度までの15年計画

構成：通史編10巻（本編4冊・資料編6冊） / 地域編10巻

通史編：時代・分野別（古代・中世・近世・近現代・自然地理・考古・文化財）

地域編：市内10地区 / 調査研究から執筆までを市民中心で実施（『香寺町史』をモデルに）

刊行計画：2019年度より順次刊行開始（通史編と地域編を1冊ずつ）

事業方針：「市民協働」の自治体史編さん / まちづくりの一環 / 「生活者」の視点を基礎に

2. 歴史文化に関わる三木市民の活動と大学・行政

- ・「三木郷土史の会」（1978～2004）・「古文書を読む会」から「三木古文書研究会」へ
旧『三木市史』『吉川町誌』（1970年）刊行後、三木の地域史研究進展に寄与 / 高齢化により解散
←郷土史の会から生まれた「古文書を読む会」は、「三木古文書研究会」という自主的活動として現在まで継続（@市立図書館）
- ・「旧玉置家住宅」における資料保存活動
旧玉置家住宅（館林藩の切手会所跡）：2001年3月 市へ寄贈 / 2002年2月 国登録有形文化財
→改修工事の後、2012年2月にリニューアルオープン / 歴史遺産を活かした観光振興・まちづくりの拠点として整備
→拠点整備の一環としての資料保存の取り組み（観光振興課（現商工観光課）の事業）

市民ボランティア主導による襖の下張り文書剥離・解読作業

2009年10月 旧玉置家所蔵の襖下張り文書剥離作業開始

2010年3月 市民グループ「旧玉置家文書保存会」結成

文化財修復家・尾立和則氏（三木市文化財保護審議会委員）の指導の下、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターが協力し、作業を実施

辻田政顕「旧玉置家住宅を活かした取り組み」（『LINK』4号、2012年）

久斗政光「市民グループによる襖の下張り文書作業と活用」（2013年地域連携協議会報告）

→旧玉置家住宅の剥離作業終了後も、市内他旧家所蔵の下張り文書剥離作業を継続的に実施

2011年 「古文書講座」開始（講師は神戸大学より派遣）

→2015年より「三木古文書塾」として自主的活動に（三木古文書研究会が講師担当）

2012年～ 旧玉置家住宅を会場に「神戸大学冬季古文書合宿」開始（教育の場として活用）

・市史編さん事業

2016年6月～ 「市史編さんボランティア」作業開始 / 「市民協働」の一環

週2回、三木古文書研究会を中心に市民による史料整理作業（20代～80代が参加）@市史編さん整理室

2016年10月 資料館講座として古文書入門講座「はじめてのくずし字」実施（講師：市史編さん専門員）

→「三木古文書塾」参加の入り口として

3. 三木市の歴史文化における市民・行政・大学協働の〈場〉と市史編さん

・地域の歴史文化をめぐる市民活動の自主的・持続的展開とその蓄積

→ その条件としての「場所」と「人（歴史文化に関心のある市民&行政職員）」

・「歴史文化を活かしたまちづくり」を目指した行政の対応

→ 旧玉置家住宅の活用 / 市史編さん事業 / 部局間連携（市長部局&教育委員会）

・地域社会に対する大学の関わり

→ 大学と地域社会との〈知〉の往還 / 地域社会のなかでの学生教育

・三者協働の〈場〉としての自治体史編さんを目指して

